

事業概要	CO ₂ 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」の開発・運営
部署	セールス&マーケティング部
所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi Oneタワー6階 WORK STYLING内
連絡先	(電話番号)03-4405-6320 (E-mail)empower@e-dash.io
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>2050年のカーボンニュートラル達成に向けた動きが本格化している昨今、地域の脱炭素化を推進するに当たっては、まずはどれだけのCO₂が排出量されているのかを認識することが不可欠です。</p> <p>特に、CO₂排出量の7割を占める産業分野に目を向けると、あらゆる企業にとってCO₂排出量の情報開示や削減が経営上の重要テーマのひとつとなっています。この流れは、プライム上場企業のTCFD対応や、自動車産業を筆頭としたサプライチェーン上での排出量情報の開示要請などという形で活発化しています。特に後者においては、業種や企業規模を問わない潮流となりつつあり、自社の排出量を把握し情報提出が求められる事例が中小企業含め増加傾向にあります。</p> <p>その様な中で、多くの企業担当者は脱炭素課題に対して自分ごと化することの難しさに悩まされています。</p> <p>そこで、当社はローカルSDGsを通じて、地域の脱炭素移行に向けた取り組みの第一歩として、まずは地域の企業や自治体のCO₂排出量を可視化し、さらに削減に向けた具体的な支援を行い、これらの情報の共有、開示を支援します。</p> <p>地域の特色を捉えた上記取り組みの結果として、誰もがカーボンニュートラルの実現を身近なものとして捉え共創できる社会の実現を目指します。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素
	<p>「e-dash」は、企業や自治体のCO₂排出量の可視化から具体的な削減方法までの取り組みを総合的にサポートする三井物産発のサービスプラットフォームです。</p> <p>企業や自治体は、電気やガス等のエネルギーの請求書をアップロードするだけで、事業を通じたCO₂排出量 (Scope 1・2) を自動で算出し、集計や計算の手間を削減しながら正確なデータを蓄積できる仕組みを提供しています。</p> <p>その他、エネルギー及びCO₂排出量の原単位の算出や目標管理機能を具備し、今後ますます対応が求められるサプライチェーン排出量 (Scope 3) ソフトウェア上で算出・可視化が可能になります。</p> <p>また、CO₂排出量の可視化に留まらず、三井物産のネットワークも活用しながら、CO₂排出量削減の各種施策の実行を支援します。</p>	
上記ソリューションを提供できる地域について	URL	https://e-dash.io/interview/archive04
	全国	

自者の特徴	<p>当社サービスには以下の特徴があります。</p> <p>1.仕組みの手軽さ</p> <ul style="list-style-type: none">○ Scope 1・2は、あらゆるエネルギー種類についてフォーマットを問わずe-dashへ請求書をアップロード頂だけで可視化が可能です。○ Scope 3にも対応しており、サービス全体のユーザーインターフェースデザインについても、お客さまから分かりやすいと好評頂いております。 <p>2.データの正確性</p> <ul style="list-style-type: none">○ 弊社側でお客様のデータを整備する際、最後に目視確認も行った上で登録を行い、正確なデータとしてお届けしています。○ CO₂排出量の算定方式について、国内初となる大手監査法人による第三者検証を受けており、経済産業省・環境省のガイドラインおよびマニュアルに沿った正確な算定方式となっております。 <p>3.排出量の可視化の次のステップである削減ソリューションの提案</p> <ul style="list-style-type: none">○ 可視化ツールに留まらず、排出量の削減に資するソリューションをお客様に届けます。e-dash Carbon Offset(※)のように弊社が直接担うものもあれば、パートナー企業や三井物産グループのソリューションとお繋ぎするものもあります。※ https://carbon-offset.e-dash.io/ <p>4.金融機関に最も選ばれ、地域に根ざしたサービス展開</p> <ul style="list-style-type: none">○ 取引先企業へ紹介するサービスとして、上記を評価頂き、サービス開始から半年で約60(※)の金融機関に選んで頂いています。※2022年10月時点 <p>5.三井物産100%事業としての責任感</p> <ul style="list-style-type: none">○ お客様に寄り添い信頼頂けるパートナーとして、中長期を見据えて取り組んでいます。
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	—